

経営比較分析表（令和4年度決算）

沖縄県 座間味村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	66.95	114.24	2,681

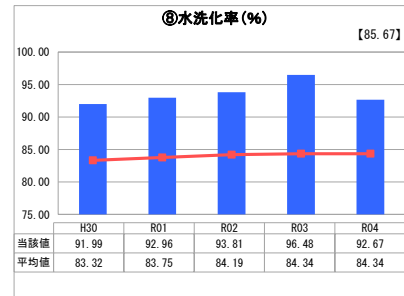
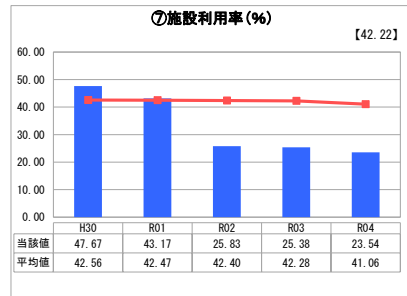
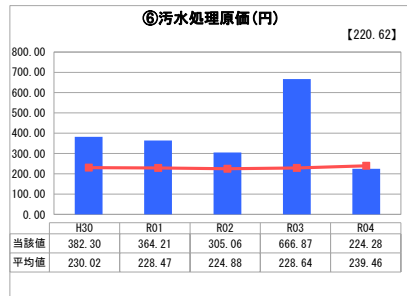
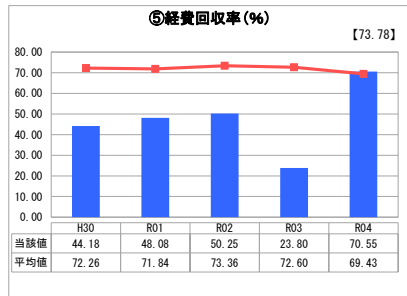
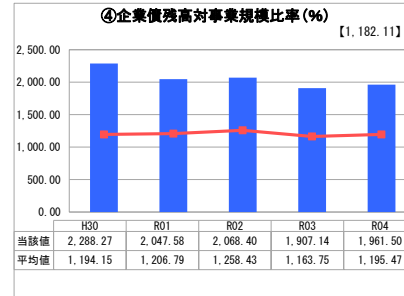
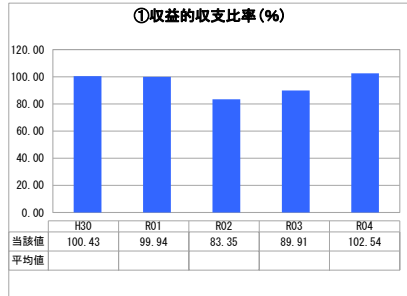
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
895	16.74	53.46
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
559	0.29	1,927.59

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)

【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

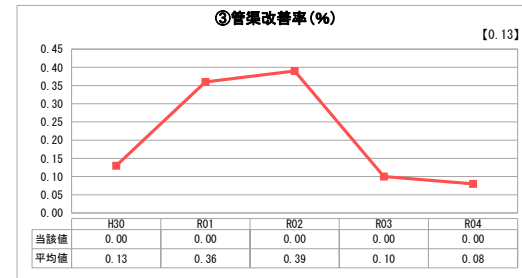
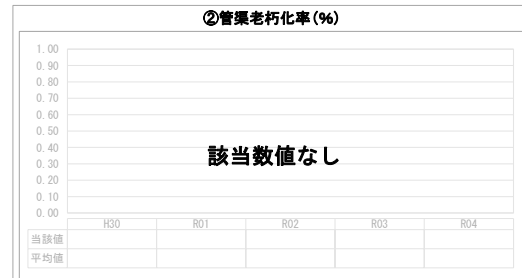
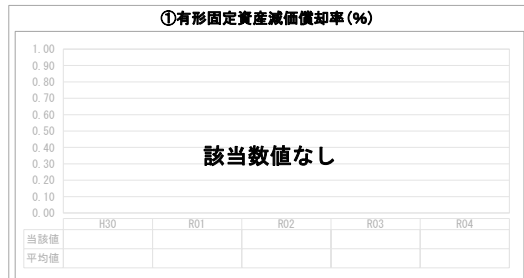
1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
・102.54%と単年度における収支が昨年度より増加した。総収益のうち一般会計からの繰り入による負担が多いため費用の削減が求められる。今後、使用料等の見直しを検討。
②・③該当なし。
④企業債残高対事業規模比率(%)
企業債の比率について昨年度より上昇した。全国及び類似団体と比べ高い状況となっており、計画的な事業計画が求められる。(共用開始以降更新の時期を迎えた設備機器が多く、処理能力の維持を行うための必要事項となっている。)
⑤経費回収率(%)
回収率は昨年より増加しており、平均値を上回ったものの、使用料以外における負担が多くなっているため、経費の抑制に加え、今後は料金の見直しなど検討。
⑥汚水処理原価(円)
汚水処理原価における費用は昨年度大幅に増加したものの、今年度は例年並みとなった。全国・類似団体と同程度の状態にある。⑦施設利用率(%)
利用率は昨年度に続き、平均値を下回っている。処理能力に対する一日当たりの割合は低い状況ではあるが、観光客等が増大する夏場の水量(日)や利用者が増加することも見据えているため適切と判断。
⑧水洗化率(%)
水洗化率については低下。全国・類似団体と比較し高い状態であるが、接続率の向上の為の周知を引き続き行う必要がある。

2. 老朽化の状況について

①②該当なし。
③管渠改善率(%)
管渠等(管路含む)については、共用開始後20年以内で改善対象ではなかったため、これまでは未実施である。今後は処理場同様 管渠等の点検調査も含めた改善計画の必要性を判断していく。(当面は機器等の更新事業を中心に取組みが、段階的に必要性を判断していく)

2. 老朽化の状況



全体総括

1. 経営の健全性・効率性において
・収益的収支比率・・・本年度は大幅な上昇となったが、依然として一般会計からの繰り入に依存する割合が多いため改善が必要。(対応策として料金改定など検討。)
・経費回収率・・・使用料で賄える割合が低いため、今後改善が必要。(対応策として使用料等の改善が今後望まれる。)
・汚水処理原価・・・有収水量の増加が望めないため、汚水処理費の削減が望ましいが、必要な運営を行っており、対策の検討を要する。
・企業債残高対事業比率・・・ここ数年、大きな変動なく安定した推移となっている。全国及び類似団体と比べ高い状況であることを念頭に、計画的な運営を進めたい。
2. 老朽化の状況対応について
今後、事業制度を用いた改善更新(管渠設備・処理場)を検討していく。(他地区の処理施設の改善状況を見ながら計画検討。)

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。